

ひとりひとりひかる

きぼう

2010 7/1
第61号

発行：かしの木の会/かしの木の里内 一宮市富田字砂原 2147 : kasisato@f7.dion.ne.jp
 榿の木園 : kasien@k3.dion.ne.jp 榿の木作業所 : kasisyo@k2.dion.ne.jp
 かしの木 ホームページ [http : www.h3.dion.ne.jp/~kst/](http://www.h3.dion.ne.jp/~kst/)



かいはいがんばれ!



榿の木の運動会が盛大に開会

平成22年度の榿の木運動会が5月30日(日)に晴天の中、富田山グラウンドで来賓に一宮市長他多数の方々をお迎えし盛大に開催しました。

各施設の利用者、退所者、在宅者、保護者の方々に、各競技で持ち味をだして汗を流して頑張りました。

競技は、3種目と少なかったですが、有意義な時間を過ごしました。

【61号きぼうの目次】

| | |
|-----------------------|-------------|
| 表紙・写真・目次 | P. 1 |
| 福祉情報コーナー／法人中長期計画について | .. P. 2 |
| 地域福祉コーナー／かしの木総会を終えて | .. P. 3 |
| 施設コーナー①／芝生育成「さいた」 | P. 4 |
| 施設コーナー②／おかげさまで1周年 | P. 5 |
| 施設コーナー③／こんにちは「きーぷ」 | P. 6 |
| かしの木の会コーナー①／麦の会 | P. 7 |
| かしの木の会コーナー②／作業所「保護者会」 | .. P. 8 |
| 文芸コーナー／「ソクラテス」 | P. 9 |
| お知らせコーナー／予定など | P. 10 |

福祉情報コーナー

当法人の事業整備

～中長期計画～

今の政権の中で



民主党内閣支持率が、V字回復しました。菅新総理の下に、内閣を一新して、国政選挙に突入ということでしょうか。新しい“障がい者総合福祉法”は、いつになったらベールを脱ぐのでしょうか。昨年末に内閣府の中に設置された“障がい者改革推進本部”の動き、当事者中心となる障がい者改革推進会議の様子からみると、ゆっくりながらも、多くの検討を重ねて着実に進んでいるようです。そして、“障がい者総合福祉法”の成立は、平成25年夏が目標であると聞いています。それまでは、廃案になった自立支援法が続いていくわけで、それにそった事業展開と、サービスの提供も行なわれます。

障害者福祉計画にそって

各市町村には、障害者福祉計画が作成されており、それに沿って施策が進められ、社会資源の整備が行なわれております。平成〇〇年までに、地域移行〇名、居宅介護〇〇時間、相談支援事業所〇〇箇所といったように、数字によって目標が書かれています。知的、身体、精神の障がいをもった方、一般の方からのアンケートであったり、福祉サービス事業所などからその事業の現状、今後の施設整備計画などをヒアリングして、到達目標を立てたものです。一応、22年度からの3ヵ年（第Ⅱ期）の中で、到達できそうな数値もあれば、とても困難な数値もあります。それでも、その市町村の福祉計画の目標達成に、一役を担うのも社会福祉法人としての使命だと思えます。



市町村が、今後の福祉サービス等の利用の目標を、障害者福祉計画として提示しているのに対し、当法人は、利用者のニーズに合わせて施設や事業を整備してきました。必要にせまられて事業を進めたといってもいいかもしれません。しかし、自立支援法のテーマ・考え方と、連動していると思っています。

空き部屋、空き店舗を、障がい福祉サービス事業所とすることで、喫茶「ふらっと」や療育サポートプラザ「チャイブ」など整備しました。相談支援体制の充実ということで、一宮市相談支援センター「ゆんたく」、就業・生活支援センター「するおぶ」を開設し、地域の方の相談に応じると同時に、地域自立支援協議会とも連動しています。日中活動後等の生活の支え、余暇の充実を図るために、居宅介護事業「きーぶ」をはじめました。そして、入所施設からの地域移行と生活面での自立支援などのために、6箇所のケアホーム・グループホームを立ち上げました。今年4月からは、国庫補助の助成金をいただき、「さつきの家・かえでの家」を開所したばかりです。

今春、10名を越える特別支援学校の卒業生が、樫の木福祉会の日中活動の事業を利用しています。また、相談事業所からは居住支援を必要としている方のニーズが多くあることを聞きます。

中長期計画をもって

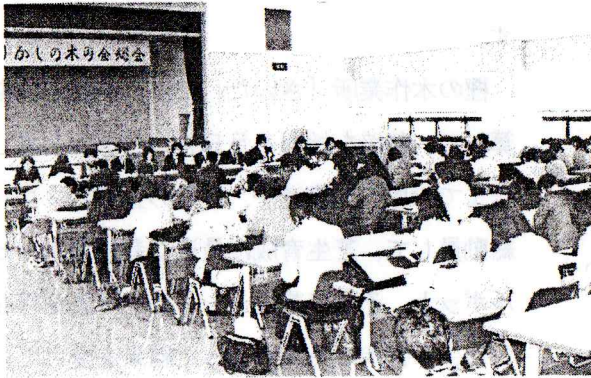
参議院総選挙に揺れている中、その選挙結果によりどのような政権ができ、どのような福祉施策になるのかも不透明ではありません。しかし、われわれ福祉サービス事業者は、日中活動支援や居住支援等、地域の現状を見極めて、施設・事業の整備をしていかなくてはなりません。法人の中長期計画をしっかりとたてて、地域の方々には選ばれる法人づくりを行なっていきたいものです。



(樫の木作業所 只井 秀明)

地域福祉コーナー

かしの木の会総会を終えて



4月25日(日)、21年度(第30回)の「かしの木の会総会」を多数の来賓の方々をお迎えして開催することが出来ました。昭和56年発足から30回目を数えるに至りました。これもひとえに来賓の方々、地域及び、会員皆様の御協力のおかげと感謝いたします。また、御来賓の方々はお休みの中、又お忙しいにもかかわらず御出席いただけたことに感謝いたします。

かしの木の会総会は、多くの来賓の方をお迎えした式典に続き、第2部では、21年度の事業報告や決算報告を、そして22年度の事業計画と予算を確認し合いました。第3部では、かしの木の会の各委員会について、代表の方から事業内容などを詳細に説明し合いました。新規会員が増えたことと、改めて活動内容を理解し合うことが目的でした。今年度は、法的にも制度的にも大きな変動がなく、総会も無事終了することができました。ただ、逆に福祉はこれでいいのか、これからどうなるのだろうかといった課題が残ったような気がします。

かしの木の会が発足して30年たちますが、この30年間にも障害者に対する

福祉制度も次々と変化してまいりました。

大きな変化としては措置費制度から支援費制度、そして自立支援法です。この会もその都度、研修会や勉強会を開催してまいりました。それでも、私達保護者と利用者は、戸惑いながら手続きの変更等をしてまいりました。

しかし、今後のことを考えると私たち保護者もそんなに若くはありません。この子達が安心して生涯をすごしていけるかを考えなければなりません。働く場所はもちろんですが、生活する場所としてグループホーム、ケアホームを1箇所でも多く、一人でも多くの人たちが安心して、地域のみなさんと暮らせるように願いたいものです。

振り返ってみますと、榎の木福祉会では10年前は入所する施設として会員及び施設職員、行政、地域の皆さんの協力で現在の「かしの木の里」が完成し、約50名の障害を持つ子供達が入所し、生活を始めました。10年たった今では法律の変更で入所基準が変更になり、障害程度区分などで、地域移行を余儀なくされた方もありました。そのようなこともあり、この4月には6箇所目のケアホームが新しく開所して、10人の利用者が地域で生活をはじめました。

このように、法律・制度によって、福祉サービスの使い方、支援の受け方の形態が変わってきています。民主党が政権をとり、また首相も内閣もころころ変わる状況で、新しく自立支援法からかわるといわれている「総合福祉法」も不透明な中ではありますが、障害を持つ子供達の生活を支えていくことには変わりありません。かしの木の会の会員一人ひとりが協力し合い、この難局を乗り切っていきたいものです。ご協力お願いいたします。

(かしの木の会 会長 黒原 勉)

施設コーナー①

芝生育成 「さいた」



一宮市からの電話

去年の12月頃でした、一宮市役所子育て支援課から1本の電話がありました。「檜の木さんで、芝生の育成ができないか。花苗をつくっているの、なんとかなるよね？」

一宮市内の保育園のグラウンドを、芝生に変えたいのが理由だそうです。突然のことで「は・・・、はい」と答えたものの不安だけがのこりました。「じゃ、予算がとれたらお願いするから。やり方は鳥取方式で・・・」と電話をされました。

芝生育成の研究

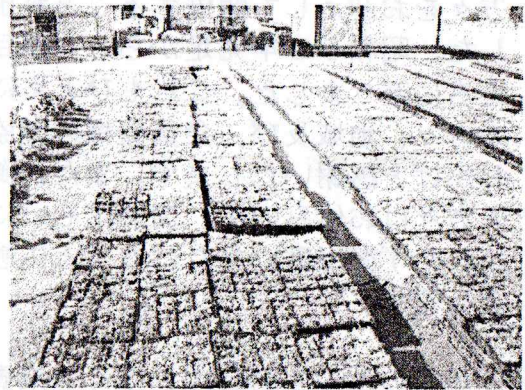
芝生は、ホームセンターの園芸コーナーから、シートになった束を買ってきて、庭に植える方法が一般的です。療育サポートプラザ「チャイブ」の芝生も、業者の方が、その方法で植えていたことを思い出します。「鳥取方式とは、何だろうか？」インターネットで調べてみました。「芝生をビニールポットで栽培する？」なんのことやら・・・

鳥取まで勉強に行こう。2名の職員が「NPO法人グリーンスポーツ鳥取」にて、研修を受けました。当日は、早朝から新幹線などを乗り継ぎ、現地到着はお昼になりました。研修は昼から4時間も時間をかけて、芝生化したグラウンドの見学ツアー、芝生の有効性を学習しました。育成方法については、あまり教えてはいただけませんでした。あわよくば、鳥取砂丘や境港市などの魅力あるスポットにも立ち寄りたかったのですが、平日日帰りの「弾丸ツアー」でした。

用土やポットの選択

鳥取方式の芝生育成方法とは・・・芝生シートを株分けして、用土を入れたビニールポットに移植し、根を張らせ、株を大きくする方法です。そしてその株を、グラウンド等に基盤目状に植えつけます。

檜の木作業所「さいた」では、納品の時期を逆算して、栽培を始める月日をはじき出しました。今までの取引先業者や、地元の企業のノウハウを総動員して、芝生育成に最適な栽培用土、ビニールポット、そして芝生シートの仕入れを行ないました。一宮市の予算が通った結果を受けて、栽培を開始しました。



一宮市の保育園が「さいた」の芝生で・・・

一宮市立瀬時保育園と萩原保育園にて、「さいた」から納品された芝生が、6月12日に、保育課職員、保育士、園児とお母さんらの手で、園庭に植えられました。あとは、大きく根を広げていくことを願うばかりです。自分たちの育てた芝生苗が、一宮市の保育園のグラウンドを覆うことは、とても喜ばしいことです。来年も、この事業ができることを利用者とともに願っています。

(檜の木作業所 さいた担当 職員)

施設コーナー②

おかげさまで1周年を迎えました!

療育サポートプラザ 『チャイブ』

昨年4月に皆様のご支援、ご協力のもとオープン致しました療育サポートプラザ『チャイブ』がおかげさまで2年目を迎えることができました。檜の木福祉会関係の方たちはもちろん地域の方たちに支えられて1年が過ぎました。4月には新規利用者4名が増え、6月から新たな仲間が1人増えて利用者25名の事業所となりました。



昨年から親子連れでカフェに来て頂ける姿や、夕方小学生の子どもたちが芝生で走り回っている姿も多く見られるようになりました。地域の方たちの温かいご支援もあり「今まで福祉施設なんて見たことがない」と言われる方たちとの出会いが数多くありました。今年度は、今までよりもさらに地域に根ざした場所となっていけるようにイベントを行っていく予定です。



今年5月には初めての

フリーマーケットを開催しました。

初回で宣伝不足の面もあり大盛況とまではいきま

せんでしたが、出店者の方達には温かい御協力を頂き大変感謝しております。次回9月には店舗数を増やして開催する予定です。また、毎月第3木曜日には檜の木の各事業所で生産した花苗や切花、野菜などを朝市(8:00~11:00開催)として販売しています。おいしいモーニングと共に地域の方たちに好評です。7月31日(土)にはチャイブと地域との盆踊りを開催予定です。駐車場が少なくご不便をおかけますが、今後ともチャイブの活動にご期待ください。



清掃作業の委託も大歓迎です。洗車や草取りなど興味のある方は一度お問い合わせください。(担当:川口)

〒491-0067 一宮市北丹町2番地

(TEL0586-28-8288)

施設コーナー③



こんにちは「きーぷ」です



3回目の投稿です。最近は・・・世界のあちらこちらで自然がいろんな形で主張していますが・

私達の日々は毎日が確実にやってくるのであって、そこには必ず生活があります。「きーぷ」の仕事は、そんなあたりまえの部分の一部になっていければ・・・と思いながら支援しております。きーぷの目標

- ①障がいのある人が安心できる生活を創る
- ②障がいのある人の充実した余暇を創る
- ③障がいのある人の健康な暮らしを創る

どの目標も支援を始めるにあたって、準備が必要です。

- ① 出会い→利用者さんとの出会い（電話で家族からの相談、相談支援センターから、個別支援会議からなど・・・）
面談・家庭訪問・契約
- ↓
- ② アセスメント→利用調査表を作成する（障がい特性。ニーズの把握。課題の整理など）
- ↓
- ③ 個別支援計画を作成する→到着目標の設定。マニュアル作り
- ↓
- ④ 支援開始
- ↓
- ⑤ モニタリング→記録を書く。チェック。
- ↓
- ⑥ 評価→反省をする。修正をする。

どの作業もとても大切なことですが、身

体介護の中の入浴支援などは必ずマニュアル作りが大切です。本人の調子の確認と、家族の方とご自宅のお風呂での支援の確認など事前の打ち合わせと、技術が問われます。マニュアルは一度作成したらオクケーではありません。成長や、環境と共に変化していくものなので・・・移動支援や、行動援護などで外に出て行くこと（社会参加）は、本人にとって楽しみでなくてははいけません。そのためには事前の下見や調査が大切です。ときには、シュミレーションなんかもして・・・その日「楽しかった～」「よかった～」とヘルパーが無事に事務所に帰ってくるのを聞いたり、再度利用者さんからの依頼があるときが一番「ほっ」とする瞬間です。

在宅から居宅のヘルパーの支援をうけながら、いろんな福祉サービスに移行された利用者さんも、少ないですがおられます。あたりまえの生活から仕事、余暇へ社会参加ですよ・・・

今も在宅で、精神障がいや視覚障がいの方で、まだまだ実践の場に出ていけそうな人がみえます。本人の気持ちを大切にしながら、少しお手伝いさせて頂きながら、充実した生活（人生）を送って頂けたならと思います。これからも、支援に入らせて頂きたいと思ひます。

H22.6 きーぷ



料理教室にて



長島スパーランドにて

かしの木の会コーナー①

あっとホーム委員会 (麦の会)

3月31日(土)に、あっとホーム委員会のレクレーションの一環として「卒業生を送る会」をてのひらの会さんと合同で、尾西グリーンプラザ「さつきの間」で、行いました。

てのひらさんは中学部が3人、高等部が4人、麦の会は高等部4人が卒業されました。



当日は、木曽川社会福祉協議会のボランティア団体の「マジック倶楽部」さんに、ハンカチやリングを用いたマジックを披露して頂いたり、ホスピタル・クラウン「グリーン」さんによるバルーンアートを見せて頂きました。

また、卒業生の数人による演奏を聴いたり、曲に合わせて歌ったり楽器を使って踊ったり、楽しく過ごしました。

日頃は、なかなか触れ合う機会のないマジックやバルーンアートを見せて頂いて子供達は、もちろん親もおおいに楽しみました。



その後は、お待ちかねのお昼ご飯を食べながら、和やかに過ごしました。

会の締めくくりに、子供達はグリーンさん達と、写真を撮らせて頂きました。今後も、てのひらの会さんと共に、子供達が楽しく過ごしていける様な活動を、模索しながら頑張っていきたいと思えます。



麦の会 浅野順子

かしの木の会コーナー②

榎の木作業所・保護者会

榎の木作業所の保護者会は、施設が開所してまもなく、保護者の親睦をはかると共に施設作りの応援のため発足して、現在に至っています。

発足時は、保護者も若い人達が多かったので、何事にも活発でしたが、現在では保護者の方々も高齢者となりました。

この間、福祉についても法律の改正がありました。措置費制度から支援費制度の変更で、利用者についても判定区分があり、このような関連の研修会や施設の見学等の学習もしてきました。

今年度の会員数は新規会員4名を含んで49名となり、内訳は親会員43名で兄弟姉妹他会員が6名です。

主な活動として当初は月1回の定例会を実施していましたが、今年度は年間7回の定例会及び施設の行事の応援として会場の清掃(草取り他)や設営等のお手伝いに参加しています。

しかし、定例会に参加して頂いている会員が少なく、役員の方々もあの手この手で、参加してもらうために食事会を取り入れた定例会や交流会等を実施して、多数の参加を呼びかけています。



参加者の声を聞きながら、今後も進めていきたいと思っています。

さて、最近の情報をお知らせ致します。早速5月の保護者会が変更になりました、理由は運動会に向けての草取りと保護者会開催予定が2日続きになったことです。

「草取りと保護者会の2日続きはきついよね。午前と午後の1日で済ませたら?」「じゃあ、お腹もすくしランチしようか」……

そこで5月の定例会はチャイブ「おやまのカフェ」でのランチを楽しみながらの交流会となりました。

これからも皆さんに少しでも参加しやすい開催を考えていきたいと思ひます。

「1人1人の会員=参加者」となることを夢見つつ、こんな私が何で会長?と悩む(36歳娘の母)会長です。



交流会で食事をする保護者会
(チャイブに於いて)

ところで、これは全部の保護者会共通の事業になりますが、毎月第一土曜日午前実施している廃品回収の集積場所が榎の木作業所になっています。

全会員さんの協力をお願いします。またその時には昨年9月にできた「どんぐり」に寄って是非、お買い物をしてはいかがですか?おいしいパンやクッキー等ありますよ……

榎の木作業所・保護者会会長 長谷川

文芸コーナー

魂の世話をする

さて、前回の文芸コーナーでは肝心のソクラテスの話に入る前に民主政治に関する論述で終わってしまいました。今回は、ソクラテスの考え方や生き方について、お話ができればと思います。

かつて、東京大学の卒業式で当時の大河内一男総長は、卒業生への訓辞のなかで「太った豚よりも、痩せたソクラテスたれ。」という言葉をおられます。実際のソクラテスは、驚くほど貧しい質素な生活を送りながら、自分自身を律して常に精神と肉体を鍛錬していました。

欲望は思慮を鈍らせる、と考えたからですね。いずれにしましても、ソクラテスの生きた時代は、都市国家アテネが繁栄から衰亡へと向かった次期であり、利己主義がはびこり、道徳は廃れていました。

さて、当時のアテネには自らを知者（ソフィスト）と称して、青年たちにいろいろなことを教えていたグループがいました。

これは、ギリシャの青年たちが民主政治のなかで、自分が立身出世していくためには、何を学んだらいいかと思って、学者と呼ばれている人たちを訪ねてみると、自然科学を教える人が多い。

しかし、自然科学ではこの世の中で身を立てることはできません。

そうするうちに、弁論に長けて、法律に詳しい、教育に熱心な学者たちがアテネに集まってきました。かれら（ソフィスト）は、青年たちにレトリケーすなわち弁論術あるいは修辞学というものを教え、法廷論争で人に負けないようにしたり、選挙演説で立派に人を動かせるような物の言い方を教え始めました。

ソフィストは、西洋哲学史では悪口だけを言われることが多いのですが、言葉を論ずるということは人間の社会的に最も大切な能力を論ずることであり、これまでの自然科学中心の学問が人間を問題に転じたという点において評価されるかと思えます。

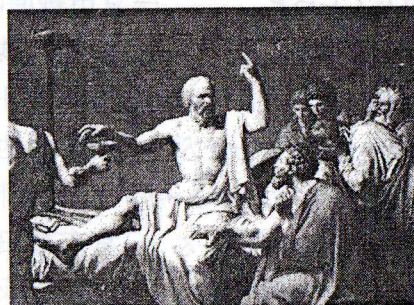
けれども、彼らのことを真の哲学者ということはできません。

なぜなら、自分たちこそは知者であると世に公言してはばからないということは、別の面では認知的な反省が、自己の方法において足りないからです。また、弁論によって勝ち負けを決めていくことだけに、主要な関心を注ぐ精神的態度は、討論の真偽に関心を持たず、討論の相手や公衆を説得するかどうかという心理的技術論だけが重要とされていたからです。

それに対し、ソクラテスは本当に自分は何を求めめるのか、自分はこの社会のなかで立身出世を求めめることは悪いとは思わない、財をなすことを悪いとは思わない、しかし自分がまずしなければならないことは、本当に人間の一番大事なものは何か、ということを探すことではないか、そしてその緊急の課題として、わたしたちは何よりもまず、「魂の世話をする。」ことが大切である、とこう述べました。人間にとって一番大切なことは、自分の命である魂を世話することだ。そして、魂を世話するということは、結局本質的に魂が要求するものを大事にすることだ。

魂は本質的に何を要求しているかということ、人間の場合に、真実、真理、本当のことなどを知ることを要求する。だから、魂の世話をするためには、初めから自分を知者であると言わずに、自分は本当の知を愛し、求めるものだ、そういうことをソクラテスは申しました。

哲学者を意味するフィロソフィアというギリシャ語で、フィロは友愛（鳩山元首相の標榜とした言葉）、ソフィアは知でありますから、ソフィストたちが自らを知者であると言ったのに対し、ソクラテスは「自分は知を愛し求める者」にすぎない、とこう申しました。またまた、紙面の都合でここまでしか書くことができませんでしたが、無しからずお赦しを。



今回も、また「J.L. ダビッドの「ソクラテスの死」でした。

「西洋哲学史」からの引用

櫻の木園 橋本

お知らせコーナー

【行事予定 7月～9月】

- 7月2日、3日**
(金) (土) **アピタチャリティーバザー**
一宮木曾川アピタ
午前10時～午後7時
- 7月4日 (日)**
一宮身障者スポーツ大会
木曾川体育館
- 7月15日、16日**
(木) (金)
物資販売 商品引渡し
- 7月31日 (土)**
チャイフ「夏まつり」
場所 療育サポートプラザ
午後5時～9時
- 8月10日 (火)**
榎の木盆踊り
場所・・・作業所
午後5時～8時

☆ ボランティアさん募集

毎月のレクレーション等の行事と一緒に楽しみたい方！作業と一緒に手伝ってくださる方！何でも結構です。先ずはご連絡ください

榎の木福祉会

かしの木の里 担当 武田、
榎の木園 担当 伊藤 まで
榎の木作業所 担当 山本
かしの木サポートプラザ 担当 川口まで

自主製品 販売中

榎の木園 ふらっとで、コーヒ販売
榎の木作業所 クッキー パン 駄菓子
(店舗) ごみ袋、お花 販売
かしの木の里 ビーズ、革、とんぼ玉、陶芸、5本指靴下、手芸、押し花、木工、石鹸など
お近くにお越しの際は、是非、お立ち寄りご覧ください。

地域の人々に支えられ、地域の人々と共に

かしの木

かしの木の会 事務局 〒494-0018 愛知県一宮市富田字砂原 2147 番地 Tel 0586-63-2111

かしの木の里内 Fax 0586-61-1200

榎の木福祉会

- ☆榎の木作業所・どんぐり 一宮市富田字漆畑 16 番地 Tel/Fax 0586-61-6055/61-6514
- ☆榎の木園 一宮市富田字若宮 17 番地 Tel/Fax 0586-62-8202/62-8253
- ☆ステップ 一宮市明地字上平 35 番地の1 Tel/Fax 0586-68-1207/68-1241
- ☆かしの木の里 一宮市富田字砂原 2147 番地 Tel/Fax 0586-63-2111/61-1200
- ☆かしの木サポートプラザ 一宮市北丹町 2 番地 Tel/Fax 0586-28-8288/28-8188
- ☆カフェふらっと 一宮市萩原町串作字女郎花 1617 番地 8 Tel 0586-67-5070
- ☆園芸センターさいた 一宮市西五城字山方 21-1 Tel/Fax 0586-62-0039
- ☆相談支援ゆんたく 一宮市北丹町 2 番地 Tel/Fax 0586-64-5882
- ☆就業・生活支援するーぷ 一宮市明地字上平 35 番地の1 Tel/Fax 0586-68-1207/68-1241
- ☆療育サポートプラザチャイブ 一宮市北丹町 2 番地 Tel/Fax 0586-28-8288/28-8188
- ☆居宅介護事業所きーぷ 一宮市富田字砂原 2147 番地 Tel/Fax 0586-63-2111/61-1200
- ☆G. H. C はぎわら 一宮市萩原町串作字女郎花 1616 番地 3 Tel 0586-67-1787
- ☆G. H. C びさい 一宮市祐久字九百坪 97 Tel 0586-68-6505

(はぎわら … みずきの家・あおきの家・はすみの家 びさい … さつきの家・かえでの家・こぶしの家)